

すが、思い起こせば私もありました。前夜しっかり睡眠を取ったのに翌朝車の運転をしているとどうしようもない程の睡魔に襲われるのです。ある日お得意先へ行った帰り、ひどい眠気を感じ、仕方なく農道で眠っていると「どうしたんですか？気分でも悪いんですか？」とのお巡りさんの声にビックリして目を覚ました事もありました。又、ある時、出張で車に乗り道路を走っていた時、眠気がさし、端まで寄ってしまいジャリ道の石のはじける音で“ハッ”と目を覚ましたりと、何度かヒヤヒヤした事がありました。今思えばこうやって無事である事が不思議なくらいです。会社でも2回ほど息苦しくなった事もありました。少し休んでいれば治るので、ただの疲れだろうと勝手に解釈していました。

話は戻りますが検査は半月近くかかりやっと病名が判明しました。狭心症です。

狭心症には二通りあり、私の場合はストレスや疲労等により冠状動脈の痙攣によって起こる方でした。病名が判明したものの“いったいこれからどうなるんだろう”と不安に思っている私に医者は「今は狭心症に効くヘルベッサーR100、ニトロールRカプセルといういい薬があります。と言って九州の熊本大学病院で300人を対象に生存率を調査したところ、そのうち2人死亡、この2人は勝手に薬を止めてしまった為です。だからこの薬をキチンと服用していれば大丈夫ですよ。もし発作が出た時には、ニトロを舌下に入れると直ぐに楽になりますから安心してください。」とそれを聞き私も妻もほっと胸をなで下ろしました。

退院後まもなくと、数ヶ月後に息苦しい時があり、2回ほどニトロを使用しました。でもそれ以来幸いなことに今日まで使わずに済んでいます。

話は変わりますが、皆さんもよくご存じの『四苦八苦』という四字熟語があります。ひどい苦しみ。非常に苦勞する事。との意味です。

四苦には生・老・病・死があり
生とは生きていく上での苦しみ
老とは老いていく苦しみ
病とは病になった苦しみ
死とは死に対する苦しみ

この四苦加え 愛別離苦・怨憎会苦・求不得苦・五蘊陰苦・の四つの苦があります。

愛別離苦とは愛する者と別れる苦しみ。

怨憎会苦とは憎んでいる者と会う苦しみ。

求不得苦とは求めても得られない苦しみ。

五蘊陰苦とは身体から発する苦しみ。

これらを合わせて四苦八苦と言います。私は今回病苦を経験し人生観が変わりました。ある医者が同じ病気の人に同じ薬を使い、同じ治療をしても良くなって行く人とあまり効果がない人がいる。その差は何処にあるかというとな良くなって行く人は前向きにとらえ明るく乗り越えようと頑張っている人。一方はなげき悲しみ希望をなくしてしまう人と言っていました。

私の場合も初めは不安との闘いでした。でも家族が明るく励ましてくれる姿を見て私も敗けてはいられない、家族の為にも元気にならなくてはと心に決めました。一生懸命、検査、治療に当たってくれた医師の方々や心配して駆けつけてくれた友達、家族に感謝の思いでいっぱいです。

この感謝の気持ちはこれからも持ち続けていきたいと思っています。

何が起こるか解らないのが人生ですが、これからも何があろうと、前へ前へと明るくプラス思考で歩んで行きたいと思ひます。

つたない私の卓話をお聞きいただきありがとうございました。



山本 賢会に米山功勞者表彰が届きました。



三條北ロータリークラブ週報

国際ロータリー会長 ウィリアム・ビル・ボイド 第2560地区ガバナー 中條耕二

会長 小林 満
幹事 本間重満
SAA 米山キクエ

例会日：火曜日 12:30～13:30

例会場：三條ロイヤルホテル TEL34-8111 FAX 34-8114

事務局：三條市本町3-5-25 三條ロイヤルホテル内 TEL 35-7160 FAX 0256-35-7488

ホームページ <http://www.sanjo-nrc.org> メールアドレス north@sanjo-nrc.org

本日の出席：65名中44名

先々週の出席率：65名中44名 80.0%

前年同期81.97%

【3月の出席状況：会員数64名例回数4回

平均出席率77.83%（前年同月81.42%）】

先週のメークアップ：

4月26日地区誌編纂委員会（新潟）斎藤 正さん

26日地区次年度クラブ奉仕委員会（新潟）
駒形 実さん

27日第4分区次年度会長幹事会

山中 正さん、小林繁男さん

28日新潟東ロータリークラブ5周年記念式典

中條耕二さん、斎藤 正さん

29日2070地区地区大会 中條耕二さん

30日春のクリーン作戦参加（敬称略）

阿部勝子、米山キクエ、安田貞夫、湊岡 茂

大野新吉、相田恒彦、横田加代子、笹原壯玄

駒形 実、小林繁男、西村 護

本日の行事：

新入会員卓話

「何があってもプラス思考で」



会長挨拶：小林 満会長



5月になりました。ゴールデンウィークの狭間で本日は例会出席会員が少ないのではないかと懸念しておりましたが、あにはからんや多数の会員が例会に出席して下さり有難く、厚く御礼申します。皆さんこのゴールデンウィークをいかがお過ごしですか？

いろんな計画の中でお出かけになる会員もいらっしゃるかと思いますが、お天気があまり安定しないようであります。

怪我、病気などなくお元気でみなさんと次週の例会を迎えたいものと思っております。

私は連日ゴルフ三昧の予定です。海外逃亡することなく、毎日大新潟カントリークラブの三条コースにおりますので、緊急事態発生の場合などいつでも私の携帯にお電話下さい。私の携帯は年中無休、24時間営業です。

ロータリーでは8月会員増強拡大月間、9月新世代のための月間、10月職業奉仕、米山月間、11月ロータリー財団月間、12月家族月間、1月ロータリー理解推進月間、2月世界理解月間、3月識字率向上月間、4月雑誌月間、6月親睦活動月間、と言う

ように月間化されておりますが5月と7月だけは何
もありません。
5月は次年度に向けての地区協議会や家庭会合が開
催される月です。従って山中年度が既に始動してい
るというわけで、何々月間が無いのだろうと理解し
ています。
4月24日に衆楽館さんで新会員オリエンテーショ
ンを開催いたしました。山本 賢情報委員長と斎藤
正副委員長から5名の新会員に対して懇切丁寧に
説明され、その後の懇親会では質問も含めて和やか
な討論の中で無事終了いたしました。
本日はそのオリエンテーションをお受けになられ
たばかりの新会員、相田 恒彦さんから卓話を頂戴
します。相田さんは独特のユーモアの持ち主でいら
っしゃいます。きっと楽しいお話をして下さると期
待しております。

幹事報告：本間重満幹事

- ・中條 GBより 「北朝鮮拉致被害者家族に対する支援」送金御礼
- ・地区月信担当委員長より 新会員原稿掲載のお願い

委員会報告：

プログラム委員会 「早朝例会」案内 5／22（火）嵐溪荘さんで温泉朝がゆをいただきます。多数の
参加をお願いします。
社会奉仕委員会 今年度社会奉仕事業「サッカー教室」6／10
「家族フィットネス教室」6／19 次週ご案内致します。よろしくお願いします。

第11回理事会

開催月日：平成19年5月1日（火）11：30～12：30

開催場所：三条ロイヤルホテル

出席者：小林（満）、斎藤（正）、山中、洸岡、本間（重）、米山（キ）、山本 阿部、外山（裕）
早川、小林（繁）、西村、駒形 出席者13／14

- 協議事項：1. 5、6月プログラム変更の件 承認
5／22「早朝例会」 5／29「地区協議会報告」
6／10（日）社会奉仕事業「サッカー教室」6／12（火）と振り替え
6／19夜例会「家族フットネス教室」
2. 「早朝例会」企画案の件 承認
5／22（火）会場嵐溪荘
3. 社会奉仕事業「サッカー教室」詳細の件 承認
4. 「観桜例会」決算報告 承認
5. らいふすてーしょん運営資金協力依頼の件 承認
10万円をスマイルBOXより寄付
6. 新入会員候補の件 承認

ニコニコボックス：1日現在累計1,049,000

小林 満君 相田さんの卓話に感謝して。 大野 新吉君 新会員となり初の卓話。相田さんご
米山キクエ君 〃 苦勞様です。ご本人をよくよく知る
本間 重満君 〃 ためにも宜しくお願いします。
全国若鯉品評会に参加しました。部 佐藤 弘志君 相田さんの卓話楽しみにしております。
門別で優勝5本、準優勝1本受賞いたしま 駒形 実君 相田会員の卓話楽しみに！
した。

星野 義男君 相田さんの卓話に感謝して！！
早川 瀧雄君 相田さんの卓話楽しみです。
小林 繁男君 相田さんの卓話期待しています。
佐藤 啓策君 相田さん、卓話ご苦勞様です。楽し
く拝聴させていただきます。
馬場直次郎君 途中退席いたします。
阿部 勝子君 相田さん卓話宜しくお願い致しま
す。
佐藤 義英君 相田さん卓話ご苦勞様です！！
本間建雄美君 相田恒彦会員卓話拝聴出来ずすみ
ません。早退のため宜しくお願い致します。



卓話：「何があってもプラス思考で」相田恒彦会員
平成4年11月の末、友人に娘婿を紹介方々、一献しました。その日は仕事も忙しく、寒さも厳しい日でした。話は盛り上がり、私も気分が良かったせいか大分お酒も入っていました。
帰宅したのは12時過ぎでした。妻に「もう遅いから早く寝た方がいいよ」と言われすぐに床に入りました。
妻もパジャマに着替えていたら、後ろから「ハア〜」と大きく吸い込むような音がして、口を大きく開けたままの私が眼に入ったそうです。あわてて側に行き私の名前を繰り返して呼びながら、ほほを叩いたりしても、何の反応も無く次第に顔色も変わっていきました。“これは心臓だ”と確信した妻は、救急車を呼ぼうか、二階で寝ている娘達を起こそうかと一瞬戸惑いましたが、早く心臓マッサージをしなくては思い、直ぐに始めたそうです。2分ほど経った頃「ハ〜」と息を吐き出し、呼吸を始めました。その間私は不思議な体験をしました。幽体離脱だったのでしょうか？私が部屋の天井にフワッと浮き、その周りから誰かが私を呼ぶのです。「何だろう」とその声に耳を澄ましているうちにパッと目が覚めたのです、そしてその直後、耳の中でガーとものすごい勢いで流れるような音がしました。妻が「お父さん、わかる」「大丈夫」と叫んでいました。

落合 益夫君 BOXに協力
丸山 達夫君 〃
加藤 實君 大野さんに協力です。
栄長 隆文君 BOXに協力。
横田加代子君 〃

＊4月のコメント賞は羽賀一夫会員です。

私は何が何だか解らない状態でした。
「お父さん、これから救急車を呼ぶから直ぐ病院へ行こうよ」と言われても頑固な私は「いや大丈夫だ。病院なんか行かなくていいよ」と言い張りました。私の気性を知っている妻はとうとうあきらめ、一晩中、寝ずに私の側に付いていてくれました。翌日「今日は絶対に病院へ行くんだよ！」と言われても私はまだ拒んでいました。「お父さん、洗面所で自分の顔をよーく見て来てください」と言われ、仕方なく見に行き、鏡を覗いて驚きました。顔がムクみまるで別人のようでした。さすがに私も“これは大変だ”と思い早速長岡の立川病院へ行きました。医者に倒れるまでの状況を話したところ「いやーそれは良かったですね。救急車を待っていたら間に合わなかったでしょ。奥さんは医療の関係者ですか」と聞かれましたがもちろん妻に医療の経験など全くありません。私を死なせるわけにはいけないと思った瞬間、以前テレビで見た心臓マッサージを行っている場面が不思議にも鮮明に思い浮かんだそうです。必死だったので怖さもなかったようです。でも私の状態が落ち着いたところで寝ている娘達を呼び、顔を見た途端安心したのか足がガクガク震えたそうです。
診察が終わりその日即入院となり、次の日から検査が始まりました。“どうしてこんな病気になってしまったのか”健康に自信を持っていただけにショックを受け、更に心臓が止まった原因がなかなか解らず不安は増すばかりでした。
病気をする時には必ず前兆があると言われていま